

公表日

令和7年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 真岡田町教室

保護者等数(児童数) 4名

回収数 2件(割合50%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					午前中の利用で預かり人数が少ない為、集中して過ごすことが出来る環境を提供できているように思う。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					児童発達支援のお子様は基本的に対一で支援を行うようにしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					製作や個別課題等、保護者様からの要望を踏まえながら職員間で話し合い決めている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					送迎や個別支援計画書の見直しの際に要望をお聞きし支援に取り入れている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				2		外部と交流する機会を設ける事ができていない。他事業所さんと情報交換をし出来ることから取り入れていきたい。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1			1		行うことが出来ないため、研修等に参加し活かしていきたい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1			1		保護者様から相談があった際には対応していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2				その日あったことを詳しく教えてくれます。	引き続き支援を行っていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				2	まだその機会がないのでわからない。	行うことがほとんど出ていないが要望や相談があった際には対応していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1			1		

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1			1		インスタグラムで様子を載せている。また、支援プログラムを毎月お渡ししている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					引き続き十分に留意しながら個人情報を保護していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				2		午後の療育で避難訓練を定期的に行っている為、午前中の療育にも取り入れていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2				毎回利用を楽しみにしています。	引き続き楽しく通うことが出来るよう支援を行っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					引き続き保護者様と情報共有を行いながら出来ることが増えて行けるよう支援を行っていく。

公表日

令和7年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 真岡田町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	その日の利用人数に応じて、2室に分ける。密にならないよう、又、児童の性格、行動を考慮したうえで室内のスペースが適切になるよう心掛けている。	少し狭いと感じる時がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	個別サポートが付いている児童に対しては必ず職員1名が付ける配置にしている。	職員が少ないと感じる日もある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	利用児の目線に合わせた掲示物、絵カードの設置。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	療育終了後に清掃や消毒、洗浄を行っている。エアコンでの温度管理の他、空気清浄機や加湿器を設置。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	必要に応じて、パーティションを活用している。	玄関前のスペースや、事務所、相談室を利用しているが、十分ではない。建物の構造上、難しい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	6	1	毎日の朝礼時の話し合いの他に、その都度必要な情報を共有できる環境である。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者様の意向はなるべく迅速に対応するよう全職員が意識している。年1回のHPに掲載している評価を話し合い、改善に努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定例の職員会議を行っている。必要であれば、いつでも管理者と個別に面談を行うことができる。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		現在のところは行ってない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部研修への参加、月1回の事業所内研修を行っている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2		現在作成中。今後公表予定である。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	モニタリングやその都度保護者様から最近の様子を聞き、作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	毎日の話し合いや記録表を活用し、職員の共通理解を深めている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	職員会議の際、児発管より報告がある。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		日々の行動観察はしており、その都度職員間で情報の共有は行っているが、アセスメントツールの使用は行ってない。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	モニタリング、担当者会議等を通して一人一人の支援を考え、支援内容を個別に記載。計画の見直しもしている。	家族支援、移行支援、地域支援は行っていない。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	朝礼時に、その日の利用児に合わせたプログラムを作成している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	活動プログラムを月初めに決め、固定化されないように前プログラムを保存し、確認できるようにしている。	少しマンネリ化している部分もある。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	その都度、話し合っている。保護者様の希望を優先しながら、児童の現状に合わせ、支援を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	日案記録表を活用し、朝礼で確認している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	当日は行わず、翌日の朝礼にて振り返りを行っている。	

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	業務日報にて記録を行っている。	支援の、検証・改善は不十分だと思う。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	児発管が行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児発管が参画。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4		園や、学校と直接話し合う機会は設けていない。どのように設けるか、誰から発信していくか分からない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	相談支援員を通じて行っている。	不十分である。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)					
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		現状では難しい。今後機会があれば、園等と交流できるよう思案していく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡帳を通してや、保護者様がお迎えに来た際や、職員が送っていった際に、その日の活動の様子を伝えている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	契約時に、管理者が伝えている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	作成前に、保護者様との話し合いをする機会を設け、よく話し合った上で計画書を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	書類に目を通してもらう。児発管から保護者様へ伝えている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	モニタリング時の他にも、何かあった場合には電話や送迎時に行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6		改善しなければいけない事項ではあるが、現状難しい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	迅速に職員間で話し合いを持ち、対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	活動概要については、こまめにSNSを活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	書庫は常に施錠している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	具体的かつ分かりやすく伝えるよう心掛けている。絵カードやマカトンサインを使い意思疎通を図っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		現状、難しい。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを作成し、職員が共通理解できるよう研修を行っている。毎月、訓練を行っている。	保護者様に訓練を実施していることが、周知されていないため、改めてお知らせする方法を準備中である。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時や、その都度保護者様から確認を取っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	おやつ提供の際には、成分表を2名以上の職員で確認し、提供するようにしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	定期的に、危険箇所がないか確認している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		緊急連絡先一覧の作成等は行っているが、安全計画の取り組み内容が保護者様がどこまで理解しているかは不明。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	報告書を作成、保管。すぐに話し合いの場を持ち、情報を共有したのち、改善に努めている。	不十分である。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	事業所内研修の実施。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	児発管が行っている。	